

＜第3節終了時点順位表＞

	チーム名	勝	負	分	得	失	差	勝点
1	筑波大学	2	0	1	11	3	+8	7
2	順天堂大学	1	0	2	5	3	+2	5
3	亜細亜大学	1	0	2	5	4	+1	5
3	法政大学	1	0	2	5	4	+1	5
5	国士舘大学	1	0	2	4	3	+1	5
6	駒澤大学	1	1	1	6	4	+2	4
7	中央大学	1	1	1	6	6	0	4
8	日本大学	1	1	1	3	3	0	4
9	明治大学	1	2	0	4	5	-1	3
10	流通経済大学	0	1	2	2	3	-1	2
11	東京農業大学	0	1	2	3	10	-7	2
12	東京学芸大学	0	3	0	1	7	-6	0

★得点ランキング★

3ゴール	平山 相太(筑大)
	市川 雅彦(法大)
	田中 雅也(筑大)
2ゴール	宮崎大志郎(駒大)
	原 一樹(駒大)
	小川 佳純(明大)
	他6名

★アシストランキング★

5アシスト	藤本淳吾(筑大)
2アシスト	田中雅也(筑大)
1アシスト	赤嶺真吾(駒大)
	新川真之介(駒大)
	筑城和人(駒大)
	巻 佑樹(駒大)
	他27名

【右】後半は相手の気持ちの方が上回っていたと選手が語るように順天の追い上げは気迫が感じられるものだった

【下】原の2点目をフリーキックからアシストした新川。久しぶりの公式戦出場は苦いものとなってしまった



【上】スタメン出場した小椋。前半何度もボールを跳ね返す場面が見られたが、後半の粘り強さは相手が勝利勝ち点を奪うことは出来なかった

気持ちという大きな課題

昨年から選手の口からは「気持ち」という言葉が多々出てくる。この日も選手たちは敗因を「気持ち」が足りなかったからと語る。試合後、選手たちは自ら練習、ミーティングを行った。主将・牧野が指揮を取り、「もっと出来るはず、最後まであきらめないでやろう」と精神面の確認。練習は基礎、センタリングなどを確認した。昨年3位でリーグ戦を終了したときも、監督は「頑張れない、労を惜しんでやるということが少なかった」と語った。今年はこの課題をどこまで修正できるか。まずは次節に期待したい。



4月15日 16:30 駒沢総合運動場 第二競技場

駒大 2(2-0) 2順大 (6位・3) 0-2 (2位・4)

得点者(アシスト)

- 【駒】15分: 赤嶺真吾(2) (筑城和人(1))
- 【駒】21分: 原 一樹(2) (新川真之介(1))
- 【順】53分: 渡邊哲也(1) (村上佑介(1))
- 【順】89分: 渡邊哲也(1) (中村英之(1))

KOMAZAWA

- GK① 牧野利昭(4)
- DF② 塚本泰史(2)
- DF③ 桑原 靖(4)
- DF④ 小椋慶一(4)
- DF⑤ 筑城和人(3)
- MF⑥ 菊地光将(2)
- MF⑦ 新川真之介(3)
- (89分)⑧ 安藤 謙(1)
- MF⑨ 最上大輝(4)
- (75分)⑩ 東平大佑(2)
- MF⑪ 鈴木亮平(4)
- FW⑫ 原 一樹(3)
- (65分)巻 佑樹(3)
- FW⑬ 赤嶺真吾(4)

JYUNTENDOU

- GK① 佐々木真裕(3)
- DF② 谷内謙介(4)
- DF③ 村上佑介(2)
- DF④ 小宮山尊信(3)
- DF⑤ 中村英之(3)
- DF⑥ 飯島 慎(2)
- MF⑦ 島崎 佑(2)
- MF⑧ 慶田光彦(2)
- MF⑨ 阿部憲二(3)
- (76分)⑩ 石崎庸介(3)
- MF⑪ 高梨峻作(2)
- FW⑫ 渡邊哲也(3)
- (33分)⑬ 多田源一郎(3)

SUB

- GK⑭ 山内達夫(2)
- DF⑮ 廣井友信(3)
- MF⑯ 八角剛史(2)
- FW⑰ 印出昌史(4)

SUB

- GK⑱ 渡辺彰宏(2)
- DF⑲ 大坂 圭(3)
- DF⑳ 鈴木公則(2)
- MF㉑ 片山桂一(3)

MANAGER

MANAGER

秋田浩一

吉村雅文

警告(C)/退場(S)

- 【駒】89分: 鈴木亮平(C2)
- 【順】49分: 渡邊哲也(C2)

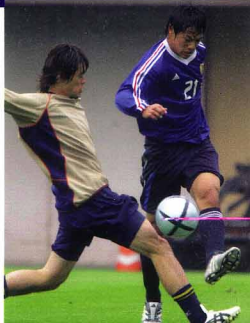
[シュート]10:3CK]10:10[CK]5:7[PK]0:0 直接 FK]9:18 間接 FK]7:4[OS]7:4[主審]片岡 操 [観衆]約350人

※上記データは全て左側の数字が駒大

U-20日本代表候補
トレーニングマッチ・レポート

原一樹、「21人」への挑戦!!

相手DFと競り合ながら、クロス上げるワールドユースに向けられながら正念場だ



2005年4月20日 習志野市秋津サッカー場

U-20日本代表 3 VS 3 ジェフユナイテッド市原・千葉

得点 () はアシスト

26分 山岸、47分 マリオ・ハース、48分 平山
50分 平山(水野)、71分 水野、79分 坂本(マリオ・ハース)
U-20日本代表候補

GK 西川周作/DF 小林祐三、河本裕之(→45分増嶋竜也)、市原亮吾
MF 伊野波雅彦、杉山浩太(→44分細貝 萌)、家長昭博、原 一樹
水野晃樹/FW 森本貴幸(→45分柳葉晋和)、平山相太

ジェフユナイテッド市原・千葉

GK 岡野 亮(→45分立石智紀)/DF 斉藤大輔、中島浩司、結城耕造
MF 坂本将貴、佐藤勇人(→45分阿部勇樹)、滝澤邦彦、山岸 智、工藤浩平
FW 林 丈雄(→45分巻 誠一郎)、栗田勇一(→45分マリオ・ハース)

6月に開催される FIFA ワールドユース選手権大会に向け、奮闘を続ける原。4月17日から行われたトレーニングキャンプ。最終日のトレーニングマッチ、ジェフユナイテッド市原・千葉戦にレギュラー組で出場。前半は右サイドハーフとして出場するも、「前半は相手に押されて、自分がチャンスに抜け出せなかった」と語るように、山岸とのマッチアップに苦しみ、チームも防戦一方。後半からはFWにポジションを移した原。最大の見せ場は、63分。西川からのフィードに「理想のかたち。駒澤っぽくうまく抜け出せた」と完璧にジェフディフェンスの裏に抜け出す。そのままゴールか?と思った瞬間に相手DFに引きずり倒されてしまうが、大層監督には「スペースに抜け出すときの動きが良い」と好印象。試合は平山、水野のゴールでJに強豪相手に引き分けに終わるが指揮官は「今日を最低のレベルにしないで」とワールドユースを見据え、このチームの可能性の大きさを語った。次の召集は5月。駒澤での活躍が原にもけ大きく左右される。現在、調子の上がらない駒澤で今後、原がどれだけのパフォーマンスを魅せられるかが注目される。

原一樹コメント

「(今日の試合は)前半は、相手に押されて、自分がチャンスに抜け出せなかったのがまだまだと思う。FWでも(平山)相太の後ろでタメが作られていないし、相手にボールを取られてしまう場面が多かった。そこが課題。自分で抜け出す場面が少なかったのも、もっとしっかりやっていかなくてはいけない。駒澤に戻って、しっかりと結果を出して、もう一度(U-20に)呼ばれたら、とにかくもっとアピールしていきたい」